

平成 30 年度 ここに残る景観資源発掘プロジェクトテーマについて

	① 自然景観	② 歴史・文化景観	③ まち景観
概要（選定の理由）	市内には葛城山や神於山、また丘陵部があり、牛滝川、春木川、津田川が流れている。また、久米田池を始め数多くのため池が分布している。これら自然と共存してきた人々の暮らしにより形成された景観は、ほとんどの市立小学校校歌に採用されているなど地域の人々の愛着があり、今後も豊かな自然とのふれあいのある景観をまもり、はぐくみ、次の世代へつないでいく必要があるため本プロジェクトを実施するものである。	本市には、遺跡や古墳、寺社仏閣など各時代を象徴するものや、中世の城下町や街道など、まちの発展とともに地域で育まれた歴史により形成される景観が多く存在している。また、地域で営まれてきた祭事や風習などの文化は、集落の景観を特徴づけ、長く守り継がれてきた価値と魅力が高いものである。 このような歴史、文化的な景観を再確認し、次世代に継承していく必要があるため、本プロジェクトを実施するものである。	都市景観は、地域を特徴づける建造物や、普段見過ごされがちな丸ポストやお地蔵さま、レトロな看板など様々な要素により景観が形成されている。また、幹線道路沿道や商店街の賑わい、人々の日々の営みなどまちなみや生活景はまちの魅力を表現し、シックプライドの重要な要素である。 このようなまち景観を再認識し、景観啓発に寄与することが期待されるため、本プロジェクトを実施するものである。
イメージ写真	 	 	 
募集テーマ	自然豊かな風景が感じられるもの 豊かな生態系の育みが感じられるもの 自然とともに生きる人々の営みや四季折々の趣が感じられるもの 地域を特徴づける自然が感じられるもの	歴史や伝統を感じさせ、魅力が感じられるもの 歴史文化を保全しながらも活用し、賑わいや親しみが感じられるもの 人々のここに残る思い出の場所となっているもの 昔から変わらない人々の営みや四季折々の趣が感じられるもの	地域を特徴づける、または核となる景観要素が感じられるもの 暮らしや生活など身近にあり魅力的であると感じられるもの 歴史の風情や洗練された新しさにより魅力が感じられるもの 賑わいや親しみ、四季折々の趣が感じられるもの
景観上の視点と評価項目	住民の自然環境への意識を高めている 土地の起伏や形状などが確認でき、空間のスケールが感じられる 集落との調和が図られ、郷土への哀愁と懐かしさが感じられる 里地里山景観が感じられる	住民の歴史・文化の保全活動への意識を高めている 地域の歴史や文化などの風情が感じられる 昔から変わらない、懐かしさや故郷を感じられる 郷土への哀愁が感じられる	人々が織りなす営みや賑わいが色濃くにじみ出ている 生活景として地域に馴染み、特徴づけている まちなみを彩り、潤いを創出している 四季の移り変わりが感じられる
景観上期待される効果	まちなみにおける自然や環境保全への啓発 四季の移ろいや緩衝帯としてのまちの彩り 市街地における緑の創出とまちづくり活動への動機づけ	埋もれていた記憶の発掘と継承 歴史、文化、ふるさとなど、多面的な広がり	明確な景観資源のない市街地における景観形成の目標像の構築 わがまちへの愛着と誇りの創出 埋もれていた記憶の発掘と継承
その他	・山：1 位、水辺：5 位、緑地：6 位 （H29 まちかど審査におけるアンケートで最多） ・対象エリアが限定されてしまう恐れ ・過去のプロジェクトテーマと重複	・お城や寺社仏閣：2 位、歴史：4 位 （H29 まちかど審査におけるアンケートで上位） ・対象エリアが限定されてしまう恐れ ・まちなみ、景観でなく建造物単体になってしまう恐れ	・田園：7 位、まちなみ：8 位 （ H29 まちかど審査におけるアンケート）